



十西小だより

弥富市立十四山西部小学校
学校だより 第18号



令和元年7月17日

不思議の種を育てよう

体を鍛えることができるように、頭も鍛えることができます。頭を鍛えるためにはどうしたらよいのでしょうか。それは、不思議だなと思うことを見つけること、その答えを自分で考えてみることで、そして、調べて答えを確かめることです。インターネットでいつでもどんなことでも調べることができる時代ですが、何の苦労もなく解決された疑問は、記憶されにくいものです。この「考える」という過程がとても重要です。間違ってもよいのです。考えることは、頭を鍛えることにつながり、考えた内容と調べた結果を比べることで知識を深く蓄えることにもつながります。

また、一つの不思議が解決されると、さらに不思議に思われることが現れます。例えば、雲に重さはあるのかという疑問を調べます。すると、雲の種類にもよりますが、積雲だと1立方メートルあたり0.5グラムほどあるということが分かります。これが、ひとかたまりの積雲（約1立方キロメートル）となると500トンにもなります。では、そのような重いものがなぜ浮かんでいるのか、また、もっと重い雲はあるのか……など、次々に不思議なことが湧き出てきます。

もうすぐ夏休みです。学校での学習はしばらくお休みになります。この機会に、不思議の種を見つけて、不思議の枝を伸ばし、大きく育ててほしいと思います。



黒豆の種まき、苗植えをしました



今年度も、鮫ヶ地コスモス会の方にお世話になり、黒豆の栽培に関わらせていただきます。

まず、7月2日（火）に3年生が種まきをしました。まき方を教えていただいた後、一粒ずつ、丁寧にまきました。約1週間後の7月12日（金）、成長した苗を4年生が畑に定植しました。根がしっかり張るように、一本ずつ丁寧に植えました。両日とも雨上がりで、ぬかるみに苦労しながら、子どもたちはがんばりました。

10月の中旬には3・4年生で収穫をさせていただく予定です。今からとても楽しみです。

